



第 400 号 平成 23 年 11 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 奥村正治

## 教育委員会と懇談会

会 長 奥 村 正 治

本年教育委員会との懇談会は秋に行なわれました。例年5月か6月かに行なわれておりましたが、指定都市学校保健協議会が京都が当番で行なわれましたので、双方時間的な余裕がなからうとの事で、変更になりました。10月1日の土曜日、定例の理事会の後、午後5時半より始まりました。

この教育委員会との懇談会は、他の園・校長会や養護研究会との懇談会とは趣を異にしており、学校医会の側から、教育委員会にお願いします、注文をつけるといった話題が多い感がいたします。本年も、以下の様な議題のもと互いの意見を交しました。

まず1番目は、眼科医会（眼科学校医会）より、就学时視力検査の基準です。数年前より就学前検診の眼科の部門が不十分であるという事が、全国的に出ました。我、京都市においては、どの地域よりも目標に向って進んでおり、我々、内科系の医師にとっては、京都の内容が全国でも行なわれているものと思っておりましたが、実際はそうではなく、検診が行われていない地区では、まず、眼科医による就学前検診を行ないましょうという形になっております。すすんでいる京都市においては、視力検査標準マニュアルを眼科医会が作成し、特に弱視の子供さんを見つける事を最重点とした点が、新マニュアルである。6才までに発見する事が重要であるが、入学前検診はそのタイムリミットでもある。幼児の3才時検診では検診は難しく、最近言われている5才時検診が、年齢的なものでは最も良いかも知れないが京都市では行なわれておらず、この就学前検診が重要な時期に当たるわけである。特に片眼の弱視の方には重要な検査になる。しかし、本年は全国的なレベルも京

都の様に到達していない事を理由に見送られた。是非来年は全国に先がけ、「京都から就学时検診の見本を発信したい」と眼科医会会長佐々木研二先生は熱弁を振られた。しかし、教育委員会からは心良い即答は得られなかった。是非とも来年度は、開始したいものである。

2番目「健康管理医の教職員の長時間労働者への医師による面接指導について」は、前月号の校医ニュースで会員の先生方をお願いを申しあげたとおりです。よろしくお願ひ申し上げます。教育委員会へは、ケースが発生したら開始いたしますと答えましたが、数ヶ月以上の長時間の先生から開始ですとも付け加えました。

3番目は「医師出務、校医派遣の日程について」の話題であるが、日曜日を除いた日を決めてこられる事が多いので、出務できる先生が少ない、又、出務出来ない、と申し上げた。又、ウィークデーに出務を希望される場合は、日程が先ではなく、先生方の御都合を先に聞き出し、日程を決めていただく事が、要領よい決め方と日程の決め方の方法も伝えておきました。学校より、日程についての相談があった場合は、学校に対してよろしく御指導いただきませう願ひいたします。

4番目は「スポーツ大会等への出務記録について」と題して、多くの校医の先生方が、一年間の間には、学校からの要請により色々のプログラムに参画されているので、参画された先生方の御名前を教育委員会が掌握し「当学校医会に連絡がほしい」と申し上げた。出務日や出務料等々の話題もあり、担当された先生方の不都合が生じない様に、双方が気をつけ

ましようという事になりました。担当の学校への出務は、この件には該当いたしません。もう少し、地域の広がった形をさしております。(ex:地区の行事等)

次は「教職員のインフルエンザ集団接種について」は、予防接種法により、診療所において行なうとなっており、学校内は診療所でない為、不可能であるという事を申し上げた。昨年の様な新インフルエンザの場合は、特別法令で、学校に於いても集団接種可能とされていた為とも付け加え、来年まで行なわれ

るMRⅢ期に於いても、集団接種が可能の法律が出来ている為ですとも申し上げた。

最後は「WYSHプロジェクトについて」ですが、トーンはさがっているが、京都も引きつづき行なわれているとの解答があった。

MR集団接種3年目も高成績をあげ、4年目の分もまざまざの数字が出ており、学校教職員の方々の御努力に感謝申し上げ、本年の懇談会は終了いたしました。

---

---

## 平成23年度給食室職場巡視の報告

長村吉朗

平成23年度の給食室職場巡視につき報告いたします。まず初めに京都市学校医会の会員の先生方にお詫びを申し上げなければなりません。昨年まではこの職場巡視に日医認定産業医の実地研修の単位が与えられており、毎年多くの地区医師会員を含む先生方に研修を受けていただいていたのですが、本年度は日医が研修と認めないと言ってきたとの府医からの連絡で研修としての給食室職場巡視は皆様方にご案内することが出来ませんでした。10年以上にわたり行ってきたこの研修は、先生方にとり京都市内の都合の良い学校で、機会が少ない実地研修の単位を取る良い試みであったと思っていたのですが、参加希望が一般に公開されていないとの理由で本年度は実施することが出来ませんでした。産業医研修に関しては最近その機会が極めて限られてきており、日医の姿勢も問われると思っています。

さてこの給食室職場巡視ですが始まってから10年以上経過しています。当初は京都市内14地区(教育委員会は行政区をその数に応じさらに細分しています)毎に給食施設の古い学校から順番に給食室職場巡視を実施し重点的に問題点の改修を行って来ました。しかし約170施設の給食実施校の大半が既に巡視を終え、設備が新しい学校ばかりとなってきて為1昨年度からは年に4校程度の巡視になってきております。今年も竹内副会長と私がそれぞれ2施設ずつ計4施設の巡視を行いました。私の担当しましたのは9月27日に府庁の北の新町小学校と、28日に丸

太町智恵光院の二条城北小学校です。いずれの施設も築15年未満で、特に二条城北は私にとり初めてのドライ校でした。学校医の先生方でも多くの先生は給食室の中に入ってはいられないと思います。入ったことのない先生方は、給食室と言うと大きな釜がいくつも並んで、作業が終わると床をモップでごしごし、びちゃびちゃの環境とされていてはいられないのでしょうか。今は水に濡れた環境は細菌の繁殖に好都合であるという考え方から、極力水を流さず乾いた環境を保つようになってきています。その最終形がドライ校であり、その一步手前がドライ運用校という呼ばれ方をしています。ドライ校は文字通り床はドライで、勿論排水溝はありますが調理釜は底に最近の風呂の様な金属製の蓋があり、作業が終わるとそこから水を抜いてしまいます。ドライ運用校は以前のように調理釜を傾け床に彫り込まれた排水溝に水を流すこととなります。ドライ校は調理前の下準備の区画も調理区域とは別部屋となっており、ドライ運用校のように一部分を線で区画しているのとは大きく異なります。最近の新設校は全てドライ校となっております。また今年の2校は食器も強化磁器となっていて、私が給食を食べていた50年前のアルマイトとは質感も食感も大きく向上しています。しかし強化磁器食器は重く破損もします。食器洗浄機もアルマイト用とは大きさも3倍以上と、多分ワンルームなら入りきらない大きさで重さも数トンという巨大なものです。食器の重さの為コンベアの故

障も多く、設置すると動かすこともままなりません。強化磁器食器は子供が2人で持つのも一苦勞で、落とすとかごの中全てが割れてしまうことも良くあるそうです。そのため最近ではPEN食器（ポリエチレンナフタレート）と言う新しい樹脂製の食器が注目されているようです。これは飲料容器として使用されているPET（ポリエチレンテレフタレート）とよく似ており、リサイクル可能で以前にあったメラミン樹脂のように成分が溶け出すことのないものだそうです。家庭で使用する食器に近いものを使わ

せたいという気持ちと、割れにくく軽いものと言う多くの食器を取り扱う立場からは難しい選択かと思われま

す。巡視の結果は施設が新しい為当然ですが大きな問題点はないものの、学校側からは産業医・教育委員会の給食担当・調理員代表がいろいろな面から施設を点検することのメリットが評価されたのではないかと手前味噌ではありますが判断いたしました。しかしながら残る施設が本当に新しくなり来年以降実施するかは今後検討することとなります。

---

---

## 第16回ふれあい子ども相撲大会

福西小学校 奥村正治

学校コミュニティプラザ事行洛西南ゾーンでは、市立大原野中学校の土俵で、9月23日の秋分の日に子ども相撲大会が開催された。昨年より外傷が多いため、医師の参加を求められましたので、本年も参加してまいりました。一昨年は、「3回も救急車のお世話になる事が有る。」と言うことで、2年参加いたしました。予想に反して大きな事故もなく、救急車のお世話になる事は無く、子どもたちの取組を見てまいりました。

この地域では、大原野神社奉納相撲が盛んで、6年生はこの方の、大原野神社奉納相撲に参加しています。従いまして、中学校の土俵には、3年生から5年生までの児童の皆さんの参加です。3名1組の

団体戦です。先鋒・中堅・大将の順に取組ます。トーナメント方式で対戦します。洛西エリアの8つの小学校の参加です。学校によっては、4チームも参加の学校も有ります。女子の対戦も有ります。230名前後の児童の参加でした。

お昼の12時半より始まり、水入りは有りませんでしたが、接戦で、取り直しの取組も5～6回は有った様に記憶しております。予定をオーバーし、5時ごろに終了と言う長丁場でした。肝心の医務の方は、延べ10例ほどのケースで、2例の頭部打撲、他は全部が擦過症で、兼ねる事1例軽度の捻挫という内容でした。

---

---

## 第40回京都市小学生陸上競技記録会

福西小学校 奥村正治

平成23年10月15日（土）第40回京都市小学生陸上競技記録会が、西京極陸上競技場（メイングラウンド）兼球技場及び補助競技場（サブグラウンド）にて行なわれた。前日は、大雨警報が出る様な大雨で、当日も、もし警報が出れば中止との連絡を受けたが、翌日になると打って変わった晴天とまではいかないが、傘は必要でないほどの小雨状態で時には雨はなく、お日様も少しは顔を出すという様なお天気になり、二度ほど小雨の為、競技見合せの時間もあり

ましたが、記録会は行なわれました。

本来なら、100m走、800m走、50mハードル、走幅跳、走高跳と4×100mリレーが行なわれる予定であったが、踏切りが必要となる競技（50mハードル、幅高跳）は中止となり、そのグループに出場予定の児童は100m走に全部変わり、メイングラウンドは、全部100m走に変更で行なわれました。長い短かいはあるが、走行のみの競技となった。したがって終了も、若干ではあるが遅くなりました。

参加校総数は158校、選手は3000名を超えた。大会を運営なさっている先生のお話しによると規模からいくと1000名ぐらいの大会の形式なのだが、3倍の選手の競技となり、過密状態の大会でもある。

毎年、あってはならない事と思っているが、骨折をするという児童が1名は出ていた大会であったが、今回の医務は例年にない結果となった。医務室をおとずれたのは、全部で10名でした。手や足の擦過症が4例、大腿、下腿の肉ばなれ疑い2例、転倒による頸部打撲1例、抜歯1例と走行中気分がすぐれない1例であった、以前の傷あとの上皮をめくり出血、

がそれぞれ1例ずつでした。走行中の転倒は今回1例も出ていない。これには少しおどろいたが、児童達も走行中にすべる事をおそれて自然に注意した状態になったのか？例年にない状態であった。その為か、記録は残念ながら、新記録等の結果は生れなかった。当方担当の福西小学校はひさしぶりに第1位が生れ、(100m走と400mリレーいずれも男子)ウキウキとした1日でした。

今熊野小学校医長村吉朗先生とが対応いたしました。

---

---

## 第6回 常任理事会

---

---

平成23年11月5日  
於 事務局

**出席者** 奥村会長、林副会長、井本専務理事、杉本常任理事、佐野眼科学校医会副会長、鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事、長村監事

### ・会長挨拶

### <報告事項>

1. 京都市教育委員会との懇談会 10/1  
於：室町和久傳
2. 色覚相談 10/11, 10/18, 10/25
3. 腎臓相談 10/11 小1男子, 小5女子
4. 精神衛生研究会 10/13
5. 平成23年度京都市小学生陸上競技記録会  
10/15 奥村, 長村出席
6. 平成23年度社団法人京都府歯科医師会会員大会  
10/22 奥村出席
7. 京都市学校保健会健康教育シンポジウム  
10/25 シンポジストに林先生
8. 第61回全国学校保健研究大会  
10/27, 10/28 (静岡)
9. 第42回全国学校保健・学校医大会  
10/29 (静岡)
10. その他

### <協議事項>

1. 京都市学校保健会表彰式 於：総合教育センター、  
祝賀会・懇親会 於：京都ロイヤルホテル&スパ  
参加者について 11/26
2. 第60回近畿医師会連合学校医研究協議会総会について 11/20 (滋賀) 於：琵琶湖ホテル
3. 平成24年度総会講師について  
平成24年4月21日 於：竹茂楼
4. 新任校医研修会について  
平成24年3月22日 於：こどもみらい館
5. その他

### <関連学会・各種協議>

1. 腎臓相談 11/8
2. 精神衛生研究会 11/10
3. 色覚相談 11/15, 11/22, 11/29
4. 第60回近畿医師会連合学校医研究協議会総会  
11/20
5. 平成23年度京都市学校保健会表彰式並びに研究  
発表会 11/26
6. 平成23年度学校保健関係者表彰祝賀会・懇親会  
11/26
7. 第7回常任理事会 12/3 14:00~